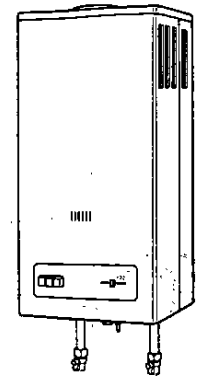


〈屋内設置壁掛型〉
ガス給湯器
33-835/672型

型式名 PH-101M
 PH-161M



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

取扱説明書



本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 ☎550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎大阪 06(586)3200
 南部支社 ☎590 堺市住吉橋町2-2-19 ☎堺 0722(38)1131
 北部支社 ☎569 高槻市藤の里町39-6 ☎高槻 0726(71)0361
 東部支社 ☎578 東大阪市稲躰2-3-17 ☎河内 0729(62)1131
 兵庫支社 ☎650 神戸市中央区夏川崎町1-8-2 ☎神戸 078(360)3100
 京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池御園町358 ☎京都 075(231)8151
 奈良支社 ☎631 奈良市学園北2-4-1 ☎奈良 0742(44)1111
 和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1-5 ☎和歌山 0734(31)2461
 兵庫西支社 ☎670 姫路市神屋町4-8 ☎姫路 0792(85)2221
 豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6-57 ☎豊岡 0796(23)2221
 湖南支社 ☎525 草津市逸分町荒畑680-1 ☎草津 0775(62)5311
 彦根支社 ☎522 彦根市大東町12-11 ☎彦根 0749(22)3131
 (長浜営業所) ☎526 長浜市南呉服町3-4 ☎長浜 0749(62)7171
 本社ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器（屋内設置壁掛型）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

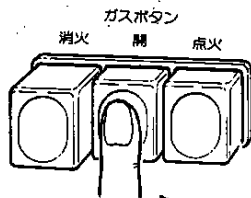
もくじ

- ごあいさつ・もくじ..... 1
- 特長・機能の紹介..... 2
- 必ずお守りください..... 3
- 各部の名まえと扱い..... 5
- 使用方法..... 6
- 点検・お手入れ..... 9
- 故障かな？と思ったら..... 10
- 仕様..... 12
- 寸法図..... 13
- 保管とアフターサービス..... 14

特長・機能の紹介

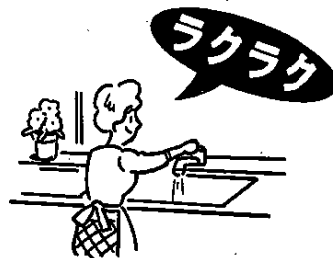
はじめまして・・・ ガス給湯器 33-835/672型は次のような特長をそろえました。ぜひ、快適な「お湯のある暮らし」にお役立てください。

■本体操作の湯温調節タイプで、操作も簡単なプッシュ式です



簡単 Push

■セットが終われば、点火・出湯は給湯栓を開けるだけです



■出湯量に応じてガス量を自動制御し、安定したお湯が得られます



■立消え安全装置付きですから、万一の消火にも生ガスの出る心配はなく、安心してご使用いただけます

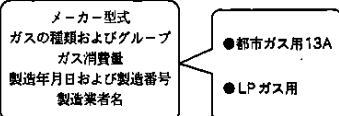


必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください

●使用ガスについてのご注意

- ・ガスの種類を確かめてください。
器具本体右側面の銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。



- ・ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●用途についてのご注意

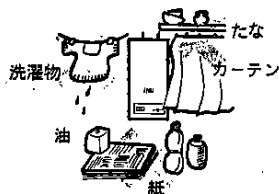
- ・給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

●補助具についてのご注意

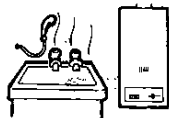
- ・付属品あるいは器具用の補助具以外は使用しないでください。

●使用場所についてのご注意

- ・強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
- ・冷暖房装置の吹出口および吸入口近くでは使用しないでください。
- ・たなの下など落下物の危険のある場所、家具、壁、カーテンなどの燃えやすいもの、引火性のものからは十分離してください。火災の原因となります。



- ・給湯器の下で、こんろやレンジなどの燃焼器具を使用しないでください。
- ・給湯器を使用する部屋では、特殊薬品(パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類)を使用しないでください。
- ・ほこりの多い場所への取付けは避けてください。
- ・浴室内には取り付けないでください。



- ・屋外には取り付けないでください。
炎が風で消えたり、冬期には凍結のため器具が損傷しますので絶対にやめてください。

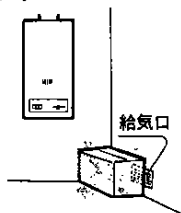
●器具設置についてのご注意

- ・器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●使用上のご注意

換気のご注意

- ・ご使用と同時に換気扇を回すなどしてお部屋の空気を入れ替えてください。
- ・お部屋の換気口は常に確保し、物などでふさがないでください。



ガス漏れ予防

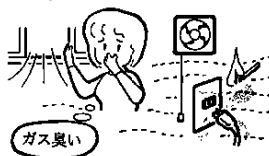
- ・使用時の点火、消火のほか、使用中にはときどき正常に燃焼していることを確認してください。
- ・使用後は必ず消火ボタンを押して消火したことを確かめてください。
- ・お出かけやおやすみの際には、ガス元栓も必ず閉めてください。

火災予防

- ・器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、揮発油など)を絶対に置いたり近づけたりしないでください。
- ・火をつけたままの就寝、外出は絶対にしないでください。就寝、外出時はガス元栓も必ず閉めてください。

ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元栓を閉め、窓や戸を開けてガスを外へ出してからお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- ・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しはしないでください。



異常時の処置

- ・ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐ使用をやめて、消火ボタンを押し、ガス元栓を閉めてください。
- ・10~11ページの「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行ってください。

やけどのご注意

- ・使用中および使用直後は、器具が高温になっていますのでつまみ類以外には手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。
- ・断続してお使いになるとき、最初熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。

断水の場合

- ・給湯栓を閉め、消火ボタンを押して、消火してください。

凍結についてのご注意

- ・冬期には 器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は8ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

- ・器具や配管が破損しますと 高額の修理費がかかります。(有料)
凍結したままでは絶対に使用しないでください。
再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、器具および配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用方法」の項以下の操作を行ってください。

日常の点検・手入れ

- ・日常の点検、手入れを行ってください。(詳しくは8ページをごらんください。)
- ・故障または破損したと思われるときは 使用しないでください。
- ・この時、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

飲用にお使いのとき

- ・器具内に長時間たまっていった水は、飲用または調理用に用いないでください。

各部の名まえと扱いかた

●本 体

排気筒接続口

前板

点火確認窓

この窓から点火を確認します

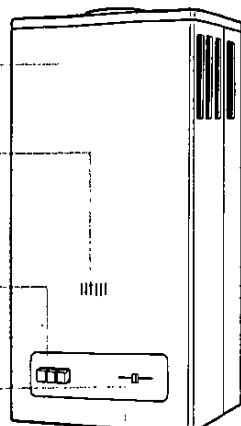
操作部 (下記参照)

ガス接続口 (ガス入口)

水抜き栓

器具内の水を抜くときは必ず

給湯接続口 (湯出口)



側面排気口

後板

水抜き栓兼過圧防止装置

給水接続口 (水入口)

水抜き栓
器具内の水を抜くときは必ず

●操作部



消火ボタン

パイロットバーナーの消火を行います

開ボタン

メインバーナーへの点火の準備を行います

点火ボタン

パイロットバーナーへの点火を行います



湯温調節つまみ

湯温調節を行います

使用方法

点火前の準備と確認

1 給水元栓を全開にします



器具の下部

2 給湯栓から水の出ることを確認します



お湯の使用場所

3 ガス元栓を全開にします

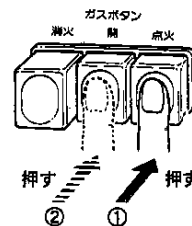


器具の下部

点 火

1 点火ボタンを「カチン」と音がするまで押します

- パイロットバーナーに点火したことを点火確認窓より確かめ、そのまま約2秒間押し続けます。
- *手をはなしてもパイロットバーナーに点火していることを点火確認窓より確認します。



2 開ボタンを押します

- 給湯栓を開けると、メインバーナーに点火する準備ができます。

点火ボタンと開ボタンを同時に押さないでください。

ご注意

- 点火確認窓に目をあまり近づけないでください。
- パイロットバーナーに点火しないときは、点火ボタンから指をはなし、再度押し操作をしてください。
- 開ボタンが押されていないと、給湯栓を開けてもメインバーナーに点火しません。

給湯・給湯停止

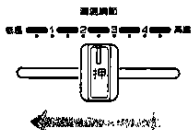
1 給湯栓を開けます

- メインバーナーに点火してお湯が出ます。



2 湯温調節つまみを押しながら動かし、お好みに湯温に合わせます

- 「高温」の方にすると湯量が少なくなります。
「低温」の方にすると湯量が多くなります。



3 給湯栓を閉めます

- メインバーナーが消火します。
*以後は、パイロットバーナーをつけておけば、給湯栓を開けると、メインバーナーに点火してお湯が出ます。

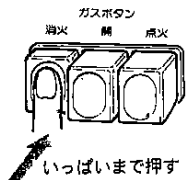


使用後は

1 消火ボタンを押します

- パイロットバーナーが消火します。
- 開ボタン、点火ボタンがもどります。

*お出かけやおやすみの際など長時間使用しないときはガス元栓を開けておいてください。



ご注意

- 給湯栓を十分に回さない、メインバーナーが点火しなかったり途中で消火することがあります。
- 使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯は出ません。
- 給湯栓をしぼりすぎると消火するようになっています。
(給湯栓をもっと開けてご使用ください。)
- 給湯栓を全開にして使用すると、高温にならないことがあります。
(給湯栓を高温のお湯になるまでしばらくしてください。)
- シャワーを使うときは必ず手で湯温を確かめてください。
(火傷対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。)
- 消火ボタンは必ずいっぱいまで押してください。途中で止めると点火ボタンが戻らず、パイロットバーナーが消火しないことがあります。

●冬期には給湯器内の水が凍結し、器具を破損することがあります。破損した場合、修理費用が必要となりますので次の方法で予防処置を行ってください。

2 器具内の水を抜く方法

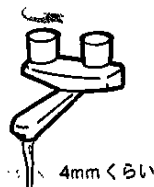
長期不在・異常寒気の場合は次の手順で器具内の水を抜いてください。

●ガス元栓は閉めておきます。

1. 給水元栓を開めます。
2. 全ての給湯栓を全開にします。
3. 湯温調節つまみ①を低温にします。
4. 水抜き栓②(2個)と水抜き栓兼過圧防止装置③をはずします。
水が抜けます。

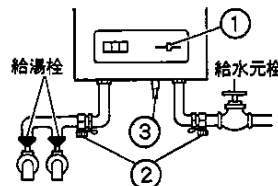
1 通水による方法

- この場合、器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。



1. ガス元栓は閉めておきます。
2. 給湯栓を開け、少量の水(1分間に約200cc程度)を流したままにしておきます。
3. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流量を確認してください。

*寒い日には多めに水を流してください。



●再度お使いになる前に、水抜き栓兼過圧防止装置と水抜き栓をはずし、必ず給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止め点火してください。

*この方法では配管の凍結は防止できませんので、配管は水入口・湯出口まで保温材で覆うなどして凍結予防してください。

お願い 凍結したときは...

- 凍結したまま使用しないでください。
(凍結したまま使用されますと、器具に異常が生じることがあります。)
- 凍結がとけ、通水した後、水漏れのないことを確認してからご使用ください。
(凍結により器具が破損した場合の修理は有料となります。)

点検・お手入れ

○点検・お手入れの際のご注意

- 器具を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・手入れを必ず行ってください。
- 点検・手入れの際は、ガス元栓を閉めて器具が冷えてから行ってください。
- 前板などは、はずさないでください。

○点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 運転中に異常音は聞こえませんか。
- 器具や配管からの水漏れはありませんか。
- ガス臭くありませんか。
- パイロットバーナーの炎が小さくなっていませんか。
- 使用中の炎は正常ですか。
- 排気筒がはずれていたり、積雪や鳥の巣などによってふさがれていませんか。

○お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、水気をしぼった布に中性洗剤を含ませ、汚れを落とした後、洗剤分と水気を十分ふき取ってください。

*強力洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないでください。
表面がキズつきます。

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、給湯栓を開け、器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭などが感じられたときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナーや各部の作動が“正常”かどうか定期点検をするのが安全で長期間使用していただくための、“ひけつ”です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

原因	パイロットバーナー		メインバーナー			高温のお湯が出ない	異常な音をたてて燃える	処置方法	お客さま	販売店または大阪ガス支社
	点火しにくい	消火する	点火しにくい	消火しやすい	黄色い炎で燃える					
ガス元栓の開け忘れ 開き不十分	*	*	*			*		消火ボタンを押してから ガス元栓を全開にする	*	
ガス配管内に空気が残っている	*							使用方法を参照	*	
ガス圧が適切でない	*	*	*		*	*	*	点検・修理を依頼する		*
給水元栓の開け忘れ 開き不十分			*	*				給湯栓をいったん閉めた 後、給水元栓を全開にする	*	
水圧が適切でない			*	*				点検・修理を依頼する		*
給水配管の容量不足			*	*						
断水している			*	*				通水するまで 使用を中止する	*	
凍結している			*					解凍するまで 使用を中止する	*	
点火操作が適切でない	*							使用方法を参照	*	
給湯栓の開き不十分			*	*						
点火装置の故障	*							点検・修理を依頼する		*
湯温・湯量調節が適切でない						*		使用方法を参照	*	
パイロットノズルのつまり	*	*	*					点検・修理を依頼する		*
熱交換器の目づまり					*	*	*			
バーナーの炎口づまり			*		*		*			
器具の銘板と 使用ガスの不一致	*	*	*		*		*			

このほかに異常があるときやおわかりにならないときは、ご自身で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

仕様

○ 次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯栓をしぼりすぎて水になった	この器具は水圧が作動水圧以下になったときには消火します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気筒から白い煙が出る	外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。

○ 安全装置の種類とその働き

● 立消え安全装置

パイロットバーナーの炎が風などで吹き消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで若干の時間がかかりますのでパイロットバーナーの消火に気づいたときは、すぐ消火ボタンを押し、給湯栓を開けてください。

再度点火するときは、すぐ点火せず、しばらく待って周囲に生ガスの臭いが無くなってから点火してください。

● 過熱防止装置

ご使用中に異常が起き、器体内部の温度が異常高温になると、安全装置が働いてガスを止め、点火しなくなります。この場合ガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社へご連絡ください。

● 水抜き栓兼過圧防止装置

器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により熱交換器内の圧力が高くなり安全弁が働いて水がポタポタ出ることがありますが故障ではありません。

(水滴が落ち、床が汚れるようなときは、ビニールホースで支障のないところへ排水できるようにしてください。)

商品の呼び		33-835型	33-672型	
型式名		PH-101M	PH-161M	
種類	給排気方式	自然排気式		
	給湯方式	止止め式		
点火方式		圧電点火式		
水圧	使用水圧	0.8~10.0kg/cm ²		
	作動水圧	低温	0.3kg/cm ²	0.35kg/cm ²
		高温	0.2kg/cm ²	
外形寸法		高さ719×幅360×奥行230 mm	高さ844×幅420×奥行292 mm	
重量(本体)		13 kg	23 kg	
接続	給水	R $\frac{1}{2}$ (15A)	R $\frac{3}{4}$ (20A)	
	給湯	R $\frac{1}{2}$ (15A)	R $\frac{3}{4}$ (20A)	
	ガス	R $\frac{1}{2}$ (15A)	R $\frac{1}{2}$ (15A)	
排気筒径		ϕ 120 mm	ϕ 160 mm	
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・水抜き栓兼過圧防止装置		
付属部品		防熱板・ビニールホース・木ねじ・逆止弁・ニップル		

33-835型

使用ガス	毎時ガス消費量	出湯量(最大) ℓ/分		
		25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇
都市ガス13A (kcal/h)	19000	(10.0)	6.2	4.5
LPガス (kg/h)	1.58	(10.0)	6.2	4.5

33-672型

使用ガス	毎時ガス消費量	出湯量(最大) ℓ/分		
		25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇
都市ガス13A (kcal/h)	30600	(16.0)	10.0	7.2
LPガス (kg/h)	2.55	(16.0)	10.0	7.2

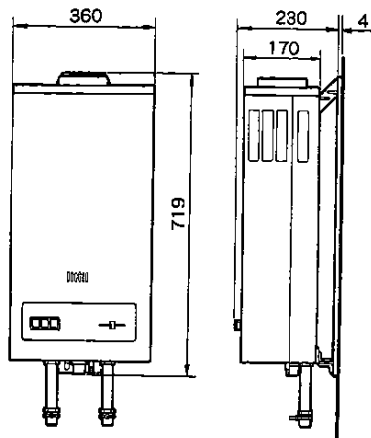
*出湯量の()内数値は相当出湯能力です。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

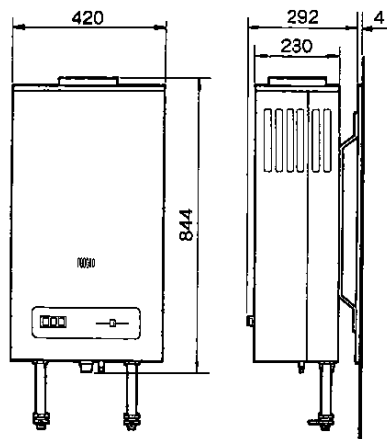
◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

寸法図

33-835型



33-672型



単位：mm

保管とアフターサービス

○保管（長期間使用しない場合）

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス元栓を開める
- (2) 給水元栓を開める
- (3) 器具の水抜きを行う（水抜き方法は8ページを参照してください）

○アフターサービスについて

サービスのお申し込み

●まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けのときは次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2. 品名…33-835/672型
（右のようなラベルが器具の右側面に貼り付けてあります。）
3. 現象…できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

(N) 33-835

大阪ガス株式会社 07

(N) 33-672 (U)

大阪ガス株式会社 06

転居される場合

●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料保証期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。